



誰もができる防犯活動

アイデアいっぱい 近所の底力発揮

日立市内では防犯のための活動が活発になり、住宅団地での自警団や学区コミュニティ全体での取り組み、市防犯サポーターなどが様々な活動を繰り広げています。いくつかの取り組みを紹介します。

犬も一役ワンワンパトロール 久慈学区

久慈学区明るく住みよいまちをつくる会が提唱した「ワンワンパトロール隊」の活動がはじまりました。

ワンワンパトロールは、犬の散歩を日課としている人たちに依頼し、声かけ運動やあいさつ運動を主眼にして、住民同士の連携を深めることを目的として結成され、犬のふん対策の一環としても期待されています。

また、関係各課所と連携して防犯

や非行防止、不審者の通報にも役立つようとしています。



家族でパトロール

現在、17組の人たちが委嘱状と帽子、腕章、犬のふん処理道具を会から受け取り活動開始しています。

このパトロール隊員からは「同じ犬の散歩をしている人に、ワンワンパトロールの内容を説明した」とか「野球部の高校生が帽子をとってあいさつをしてくれた」などの報告も徐々に寄せられています。

また「なぎさ公園を裸で歩いている不審者がいる」との報告に、すぐに警察に連絡し、見回りの強化をしてもらったなどのよい結果が出ています。

気軽にできるユニーク防犯作戦 塙山学区

昨年夏に学区内で急増した空き巣や車上狙い、下校時の子どもの被害などに対応するため「安全安心のまちづくり委員会」を結成し、学区全

体で防犯活動に取り組んでいます。

ミニプレートの貼付作戦や、会議終了後はパトロールしながら帰宅するなど、各種団体や学区住民だれもが気軽に参加できる仕組みづくりをしながら、啓発活動、情報交換などを中心に、自治会自警団とも協働して安全なまちづくりを進めています。

今年度、塙山小学校PTAでは各家庭で協力しやすいようにと、7つのパトロール方法を考案し、会員や地域に呼びかけました。「庭先・ベランダ・散歩・ピンポイント・なかよし・帰宅・買い物パトロール」です。多くの目で不審者などの横行を抑制し、登下校時の子どもたちの安全確保の活動がはじまっています。



安全条例」施行で誕生しました。

午前7時から午後7時までの二交代制、8名で活動しています。警察署等の情報を基に、防犯パトロール専用車による市内パトロールや、小中学校の登下校時の立哨も行っています。

また、団地や住宅街などでは、犯罪抑止の広報や啓発活動、防犯診断を行い、関係機関・団体と協力しながら、地域社会の環境浄化や整備に努めています。

自警団立ち上げの指導

地域の皆さんには「自分たちのまちは自分たちで守ろう」の意識高揚を図っていただき、犯罪に強いまちづくりをするため、各地域毎(団地単位)に自警団の立ち上げを指導しています。

また、市役所では防犯用具購入の一部補助制度があります。

詳しくは生活安全課へ。

(TEL 22-3111 内線570)

住宅地の防犯診断も

防犯サポーター

日立市防犯サポーターは、「生活

日立の魅力再発見ウォーク **わたし**

今年で6回目を数える「日立の魅力再発見ウォーク」は、9月25日の大沼学区のウォークを皮切りに、18学区で開催されます。(詳細は9月20日号の市報に掲載)現在、それぞれの学区では、担当者がわが地区はここ

が見所、ここが穴場と参加者に案内するための準備に余念がありません。

それぞれの学区のコースの特徴や、当日、参加者をお迎えするっておきの案内人を紹介します。

豊浦学区まちづくり推進会

縄文文化の遺跡や平安時代の史跡など、豊浦の名所旧跡を「歴史探訪クラブ」の先生たちが詳しく説明してくれます。豚汁も出るよ!



山田孝志さん

中里を住みよくする会

紅葉の時期、中里地区内の名所及び旧跡を訪ね歩く。実りの秋にふさわしく、柿やゆず等も色づき、絶景の季節の中でのウォーキングです。



石川尚武さん

会瀬学区市民運動推進会

会瀬学区の歴史や文化面を語る第一人者が案内します。会瀬、初崎海岸にかかわる地形の変化や助川海防城砲台跡等、自然や歴史をわかりやすく解説します。



皆川直司さん

日高学区市民自治会

NHK「武蔵」で放映された不動滝は、沢庵和尚が水浴する夏の場面でしたが、晩秋の紅葉に彩られた風景もまた見事です。是非どうぞ。



鈴木 進さん

仲町学区内を住みよくする会

仲町学区内は、山々に囲まれた自然がいっぱいで名所旧跡の多い地域です。日立市が鉱工業都市に発展した生みの地でもある当学区をお訪ねください。



古河利孝さん

成沢ふれあい推進会

海の眺めを楽しめる助川山で秋の一日を楽しみましょう。助川山保全くらぶのメンバーが体の不自由な方を車で案内するコースも併設します。



多田恒雄さん

日尻学区市民運動をすすめる会

ふるさとの調査研究を続ける地域歴史研究の第一人者がご案内します。



大森政美さん

昨年、その研究が「ぶらりふるさと探検隊」と題し、新聞で紹介されました。

中小路を住みよくする会

幸町、弁天町、鹿島町の史跡巡り。戦前、戦後の大切な史跡も訪問者が減っており、これを機会に見学者が増えることを期待します。



皆川忠平さん

油縄子学区住みよいまちをつくる会

再発見ウォークを手がけて4年目になります。数少ない油縄子学区の歴史資産を、熱意をもってわかりやすく参加者に説明します。ぜひご参加を!



益子功喜さん

宮田学区市民運動をすすめる会

「新たな発見」地域財産を探る! 日立の見どころの一つである日鉦記念館など昔人の生活と企業発展の歴史を学び、さらに「きららの里」も散策します。



高田瑞穂さん

助川まちづくり協議会

助川海防城は、幕末水戸藩が異国船の来襲に備えて築城された、他に類例のない城跡です。日立の宝です。大切にまもりましょう。



大貫幸男さん

諏訪学区明るい市民の会

水と紅葉に囲まれた水戸徳川家ゆかりの史跡を訪ねて諏訪路を歩いてみませんか。史跡では案内人が往時を偲びながらくわしく説明します。



波原英夫さん

たちがご案内します

明るい大久保市民の会

古い歴史の面影を残す家並み、大窪城跡や暇修館、鹿島神社など史跡が多く、風穴や美しい山野があり、魅力いっぱいのコースです。



蛭田保夫さん

水木学区市民運動推進会

次の世代に伝えるべく金砂神社大祭礼の田楽舞を模した記念碑と、全国的にも数ヶ所の湧水にか生息していないイトヨが観察できるコースを案内します。



友部健三郎さん

防災マップまもなく完成 地域と市の協働で!

昨年度からコミュニティ推進協議会の皆様と取り組んでいる防災マップ作成事業は、市の防災対策において大変重要な意義を持つものです。

生活安全課はこの点に着目し、作成要領の検討やベースとなる資料の提供など、側面から支援してきました。全国的に見ても、地域の皆様と市が協働している事例は非常に少なく、今後注目されることと思います。

この事業を通じて、自主防災活動がさらに活発になることを願うとともに、今後も安心して安全なまちづくりの充実に向けて、皆様と協力していきたいと思っています。

なお、防災マップは10月中に全世帯へ配布する予定です。



話し合いを重ねて

大沼学区コミュニティ推進会

昨年、健康づくり推進会を発足、学区内の名所や旧跡を歩く景観の良いウォーキングコースを設定しました。今回、大沼川ライン第五コースも実施します。



大江日出雄さん

大みかコミュニティ推進会

大みかは日立港後背地として区画整理され比較的新しいまちですが、歴史のある古いものや最新鋭の施設などがあり、発見の多い所です。



青木 秀さん

金沢学区コミュニティ推進会

日頃のストレス解消に森林浴や、史跡巡りは如何ですか。健康に自信はありますが経験、知識のない私ですがご案内します。奮ってご参加を!



小川喜彦さん

坂下地区市民運動をすすめる会

田園風景を満喫しながら、歴史を重ねてきた文化の味わいと先人たちの生活を想像し理解して今に生かせるよう案内いたします。



茅根 博さん

健康づくり

学区コミュニティで着々と



会瀬小プールで水中ウォーク

22の学区コミュニティ対象の健康づくり推進員養成事業は、14年度からはじまり、坂下地区、豊浦・田尻・宮田・中小路・成沢・河原子・金沢の8学区からスタートしました。

今年度は最終年度で、助川・大久保・塙山・油縄子・水木・大みか・中里の7学区が実施し、地域で健康づくり推進役として活動できる人を養成しています。

昨年実施した会瀬学区では健康部を新設し、月1回の活動がはじまっています。

このほか日立市からの健康器具配備の事業や、健康運動教室事業は、昨年度推進員養成事業を実施した日高・滑川・仲町・会瀬・諏訪・大沼・久慈の7学区で実施されます。

「ひたち健康プラン21」では、健康づくりを地域やコミュニティが市民運動として、主体的に取り組んでいくことを位置づけています。



コミュニティ推進協議会 単会リレー訪問

市内には小学校区エリアにコミュニティ活動をする団体が22あります。それぞれ地域の特色を活かしながら、住民と一緒に住みよいまちをつくる活動を続けています。今回は大沼学区コミュニティ推進会を紹介します。

行事を通じて 各種団体と協調

～大沼学区コミュニティ推進会～

地区の特徴

大沼学区は、金沢町と大沼町の一部に、JR線から国道245号までの東金沢町、東大沼町（4丁目は除く）までの広い範囲です。国道245号沿いに会社や工場が多く、工場団地が形成されていることです。

歴史的には、天保7年に大沼異国船御番陣屋が設けられ、天保11年には、徳川斉昭が大沼陣屋を視察して、海岸で砲撃を観閲した記録が残されています。

現代では大沼小卒業のサッカー日本代表の鈴木隆行選手が有名です。

会の構成

会長のもとに書記局、専門部としては広報・防災・福祉・環境・レク・文化の6部門を置き、毎月の常任役員会で活動しています。

学区全体を10区に分け、区ごとに地域の世話役を担当する「地域幹事」を置き、常任役員会に参画しています。各区では地域幹事のもとで、年2回の地域懇談会を開催し、地域ごとの意見と要望を取り上げるように、きめ細かい配慮をしています。

学区内には、地区社会福祉協議会、学校、母の会、PTA、子ども会、老人クラブなど12の関係諸団体があり、連携を密にして協調体制での運営を心掛けています。

今年3月には、東金沢公民館の内部に、大沼学区コミュニティ推進会

の事務所を設けることができ、学区の拠点として、活用の輪を広げていくこととなります。

特色ある行事



手づくりいっばいの「大沼まつり」



「救急救命講座」に取り組む多くの皆さん

●大沼まつり

「大沼まつり」を年間行事最大のイベントにしています。今年は7月31日(土)、第21回が開催されました。この祭りは、あくまでも手づくりをベースにしています。今年のパレードの出し物は、アンパンマンとドラえもんでした。

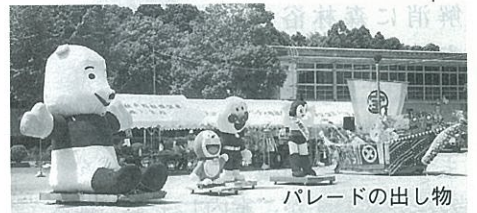
祭りの準備には、関係諸団体から選出された約80名の実行委員が関わり、5月から4回の委員会で、今年こそはとアイデアを出し合っ

てきました。

祭りは1日で終わってしまいますが、準備に3ヶ月かけ、当日は朝からテント設営や物品搬入、そして翌日は朝6時から後片付けと、この一連の流れの中で、関係諸団体の見事なまでの協調姿勢が結集できたことは、学区コミュニティの誇りです。

●救急救命講習会

防災部では年間計画の中で、11月の総合防災訓練に次いで「普通救命講習会」に力を入れており、多くの人に参加するように呼びかけ、本年6月の講習会終了者や上級を含めて受講者は107名になりました。今後とも引き続いて実施することにしています。



パレードの出し物

今後の展望

大沼学区のまちづくりプランを策定して全戸に配布しました。これで終るのではなく、第1にプランを生かし続けること。第2はコミュニティ推進会の独走でなく、各種諸団体と足並をそろえて進むこと。この2点を留意して、コミュニティ活動を推進していきます。



会長 大江日出雄
事務局 東金沢公民館内
TEL 35-8831
世帯数 4,974戸
人口 12,516人
(平成16年7月1日現在)